

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第29号 2024. 1. 19 (金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

「令和5年度」の総仕上げ～仲間と過ごすこの時間を何よりも大切に～

☆「夢実現・自己実現」一步、大人の集団にレベルアップ!!☆

「みんなが安心して笑顔で安心して過ごせる」学校づくりに必要なのは・・・
全ての人を『Respect』すること（相手に敬意をもつ、相手の心を大切にする）
⇒かけがえのない自分の存在を大切に・仲間の存在を大切に・仲間と過ごす
かけがえのない時間（その空間）を何よりも大切に、行動できる力です。

「私の行動はこれでいいのだろうか？」～自分の心に問いかけてみよう～

3年生のみなさん、第一中学校で一緒に過ごせるのも残り33日間となりました。1、2年生のみなさんは残り43日間となりましたね。一人一人を見ていくと、「もっと素直な心で、柔軟に人の話に耳を傾けて欲しい。まだまだ自分を伸ばすことができるのに」と感じる場面がまだまだあります。大切なのはここからです。みなさんが大人になろうとする時、誤った考え方やその事実気付けるかどうか。「自分の行動はこれでいいのだろうか」と後先を考えながら自問自答できることが次の動きにつながり、様々な考え方を吸収することにつながります。そして、さらに自分を伸ばしていくことができます。しかし、その事実気付かなければ、そのまま自分の考え方や言動を固定化することになってしまい、心の豊かさや人間としての幅を広げることはできません。これから先の人生において、自分の信念と正しい判断基準を確立していくためにも、時には「今の自分」に修正を加える勇気を持っていくとよいのではないかと思います。まだまだ伸びる一中生、3学期は「今の自分」をつくる集大成の学期です。3年生には新たな生活、1、2年生には先輩としての新たな役割がまっています。

ヴィクトール・フランクフルのことは

「人間からあらゆるものを取り上げようとしても、絶対に取り上げる ことができないものが一つだけある。いかなる環境におかれても自分の心の持ち方を選択する自由だ。それは人間の究極の自由である。」

- 勝者は、勝者になるための信念を学んでいる。
- 勝者は、成功と失敗は紙一重だということを知っている。
- 勝者は、言葉を慎重に選んで、頻繁に自分に語りかけている
- 勝者は、謝った思い込みや心理的刷り込みを修正する。
- 勝者は、自ら判断し選択する力をもっている。（自己決定）
- 勝者は、無限の潜在能力を実感している。
- 勝者は、明るい。未来を見据えて、今を精一杯に生きている。
- 勝者は、時間を大切にする。

現在は、『一生懸命』と表記されることが多いですが、本来は『一所懸命』だったそうです。中世、武士の間で用いられた言葉で、「一所（ひとところ）の領地を、命にかけて生活の頼みとする」という意味になりますが、後には、生死をかけるようなさし迫った事態から、「命がけ＝懸命で事を行う」というように変わってきたと伝えられています。

『自分がいる場所(一所)に懸命に。同時に『その瞬間(一瞬)に懸命に。そして、その連続が自分の人生(一生)に懸命になる』という思いを込めてこの言葉を書いてみました。どんな思いが湧き上がってきましたか？